

# COMPASS アクセス

令和5年度

## 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1		4	定員や活動内容・状況に応じ机・椅子、パーティションを配置し、適切なスペースを作るように配慮しています。	
	2		4	法令に従って人員配置ができるように、管理・リーダー・運営全員で関わり、ミスのないようにチェックを行っています。	
	3		4	階段には手すりを設置しております。1階の室内に段差はなく、車いすでの移動には支障のない環境になっています。	
業務改善	4		4	毎日のミーティングやケース会議、リフレクシオン会議など常勤・非常勤問わず参加し、多くの視点から現状の把握や反響・課題の抽出ができ、今後の方針を検討できるようにしています。	
	5		4	定期的アンケートによる評価を実施しております。また、ご相談があった場合は、その都度職員へ周知し、業務の改善に繋がるようにしています。	
	6		4	COMPASS 発達支援センター公式 Web サイトにて公開しております。	今後も公式 Web サイトで公開してまいります。
	7		4	現時点では第三者評価は実施できておりません。	第三者による外部評価については今後の課題として検討してまいります。
	8		4	事業所内研修を計画・実施しています。外部研修の開催情報は逐一職員に公開しており、参加したものについては資料等情報共有をし、資質の向上に努めています。	
適切な支援の提供	9		4	モニタリングや面談等から得た情報をもとに、児発管、療育を担当する指導員や保育士による支援会議を行い、保護者様のニーズや児童の課題により適した計画の作成に努めています。	
	10		4	書類の統一と整備を行い、年齢や児童の状況に合わせたアセスメントツールを使用しています。	
	11		4	管理者・児発管・児童指導員・保育士などさまざまな立場からの意見を出し合い、児童の状況や課題・季節などに応じたプログラムをチームで立案しています。	
	12		4	活動内容は自社のカリキュラムに沿うと同時に課題に対するアプローチの仕方を変化させ固定化しないようにしています。	
	13		4	児発管作成の個別支援計画を基本軸とし、児童それぞれの状況、保護者様の願い、体調、情緒に合わせ、課題を設定しています。	
	14		4	個別活動と集団活動を、特性や発達段階・年齢、保護者様のニーズに応じて、計画的に組み込んでいます。	
	15		4	毎朝ミーティングを行い、その日の支援方針や内容について話し合いを行い、目的や注意事項を確認し、支援内容を決めています。	
	16		4	支援終了後、支援内容を報告し合い、職員間で情報共有を図っています。気になる点などはすぐに児発管へ報告を行い、対策・改善策をミーティングで話し合い共有を行っています。	
	17		4	日々の支援内容を必ず記録し、職員間で共有できるようにしており、すぐに検証と改善ができるようにしています。	
	18		4	6ヶ月以内に必ずモニタリングを行い、児発管と療育の担当者や現状の児童の成長や課題、保護者様からいただいた情報などを加味しながら、支援計画の見直しについて検討しています。	
19		4	ガイドラインの総則の基本活動を組み合わせた支援を行っています。特に支援内容については、直接指導にあたる職員の意見を踏まえ、統一した支援ができるよう努めています。		
関係機関や保護者様との連携	20		4	担当者会議には児童の状況や変遷、現状の課題や保護者様の思いを一番把握している児発管や療育担当者が参加しています。	
	21		4	関係機関連携会議の開催や、送迎時に連携を図り、下校時間の変更等、担任の先生と連絡調整を行っています。	
	22		4	現在医療的ケアが必要な児童は在籍しておりません。	事業所は重症心身障害以外の児童が対象となっていることもあり、今後受け入れ希望があった場合は、慎重に検討し、受け入れ体制・事業所のあり方について模索してまいります。
	23		4	個人情報保護の観点から、保護者様からの要望があった場合のみ、支援目標や内容等の情報を共有し、相互理解を図っています。	
	24		4	現在、学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所へ移行する利用児童はいません。	
	25		4	専門機関へ定期訪問させていただき、助言を受けています。	
	26		4	個人情報保護の観点から外部との交流は積極的に行っておりません。	個人情報の関係より外部との交流を望まれない保護者様もおられるため慎重に検討してまいります。
	27		4	支援協議部会や地域部会に定期的に参加しております。	会の内容について職員間での周知や共有に努めてまいります。
	28		4	日々の送迎時や家庭連携の際に、利用の様子や支援内容について説明を行い、同時に保護者様からも、学校やご家庭での様子などをお聞きし、共通理解を図っています。	
	29		4	ペアレントトレーニングについては、家庭の状況やニーズに合わせて行っています。日頃から児童への対応について相談がある際には、助言や意図もお伝えするように配慮しています。	
保護者様への説明責任等	30		4	ご契約時や質問があった際にできるだけ丁寧な説明を行っています。また、職員研修でも周知を図っています。	
	31		4	ご相談やご質問、お悩みについては、日頃からコミュニケーションを図り、相談しやすい関係づくりを心掛けています。定期的に保護者面談を行い、相談があれば助言と支援を行えるよう心掛けています。	
	32		4	感染拡大防止の観点より、現時点では父母の会の活動支援や保護者会などは控えています。	今後の状況を踏まえたうえで開催の検討をいたします。
	33		4	マニュアルを策定し、苦情が入った場合はそれに沿って迅速に対応するとともに、周知し再発防止に努めています。	
	34		4	季節ごとに「COMPASS だより」を発行し、また公式 Web サイトでは最新情報のほか、毎日事業所の活動内容がブログで紹介されています。	
	35		4	写真掲載など個人情報に関わる場合には保護者様への確認書により同意を得ています。個人情報の取り扱いには細心の注意を払い使用し、施錠できる書庫で保管しています。	
	36		4	児童の特性や保護者様の状況に合わせ、十分に配慮した情報伝達手段で意思の疎通を行っています。	
	37		4	現時点では、地域の方をご招待するなどの交流は積極的に企画するまでには至っておりません。	個人情報の関係より外部との交流を望まれない保護者様もおられるため慎重に検討してまいります。
	38		4	マニュアルは策定し、室内の見やすい場所に提示しております。定期的に発生を想定した話し合いも職員間で行っています。	
	39		4	地震・火事・不審者等への避難訓練を実施し児童の安全の徹底と、災害時に職員間の連携を図るようしています。	
非常時等の対応	40		4	虐待に関する研修を行い、虐待防止マニュアルに沿って対応しています。さらに他の事業所や学校、家庭での虐待事案ごとにミーティングを行い、振り返りを行うことで虐待発生を防止できるようにしています。	
	41		4	現在身体拘束が必要な児童のご利用はありません。	利用契約書に身体拘束の禁止を記載しており、生命または身体を保護する為、拘束を得ず身体拘束を行う場合は、あらかじめ文書により保護者様の同意を得ることとしています。
	42		4	現在食事提供は行っておりません。	食事の提供がないため、医師の指示書の提出はありませんが、契約時に保護者様から聞き取りを行い、児童のアレルギーと対応を確認、全員で周知徹底しています。
	43		4	ヒヤリハットは報告書を作成し、職員にヒヤリハットは報告書を作成し、職員に回覧・周知し、事例集にまとめています。	

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。